

※おいしい김치・고추장・떡국発送いたします。

祖国訪問記

祖国の板門店を訪ねて

姜 順 明

私達、中部地方会婦女部・婦人会連合会一行の祖国訪問

第二日目、かねがね行って見たいと願っていた板門店へ行く日である。朝から胸がワクワクノ一緒の部屋で泊まった師母任(盧牧師)と金純子さんとで、何を着て行くかと考えた結果、第三トンネルにも行くのだからとジーンズと運動靴にした。我々三人だけが軽装だったようだ。ソウルから板門店へ行く道は国道一線「統一路」で、昔は義州路といひ、平壤を経て満州にまで通じていたと、この日私達を案内して下さる徐政卓牧師の説明が始まる。道路はきれいに舗装され、沿道には樹木が並び、広々とした田畑の中に赤や青のカラーフルな住宅風景が続く。以前はこのあたり北から近いので、めったに人は住まなかったが今は北の脅威も薄れ、どことなく宅地開発が進んで、地価もウナギ昇りに急上昇しているとのこと。とはいえ沿道に軍事的な警戒は今でも厳重で、

北の戦車を阻止するためのコンクリート塊や土堤があらにに見え、検問所には終日銃を持った警備兵が立ち、通行車輦に目を光らせていた。板門店に近づくにつれ「自由の村」と呼ばれる小さな村落がある。動乱前からここに住んでいた人たちが、今も農業を営みながら生活している。三十世帯で人口は二百三十人程、非武装地帯にあるので、国連軍の管轄下におかれていて、「韓国一豊かな農村」と言われるくらい村人の暮らしは豊かで、政府からも援助を受けており、小さいながらも小学校もある。その自由な村から南に二キロあまりの所に、第三トンネルといわれる地下トンネルの出口がある。我々はまずここで下車。このトンネルは、ソウルから四十四キロしか離れていない所で北が掘ったとされる地下トンネルは、一九七八年十月に発見された。非武装地帯内で北が掘ったとされる地下トンネルは、それまでも二つ発見されてきたが、この二つのトンネルに比べると第三トンネルははるかに規模が大きく、幅と高さが二メートルもあり小型車輦が通行できる程と見学する前に説明があり、又注意として、第三トンネル内往復は、二十五階ビルを往復する程の距離だから、高齢者や高血圧の方はバスに残っているようにと言われ、我々一行の内三人程残った。高齢の都執事、権執事なども元気に見学し、みんな汗だくで、ジーンズに運動靴のなんと良かつたことノ再びバスで、いよいよ板門店へ。

検問所で軍のバスに乗り換える。この時、思いもしなかったことが我々若い三人に起った。警備兵から一人一人にパスチが与えられ、このパスチをつけた人だけが軍のバスに乗れるのだが、私達三人には、ジーンズと運動靴を見てパスチをくれないうのである。ここから先はジーンズ、運動靴は禁物という。徐牧師も盧牧師も途方に暮れた。すばやいの師母任。今まで乗って来たバスのガイドさんの靴を履いてきた。師母任は靴だけだったのでOK。パスチをもらってバスに乗った。金純子さんと私、うろうろしているうち、金純子さんも前のバスに走って行き、ガイドさんのスカートを借り、運転手さんの靴を履いてやってきた。男物の靴であつてもこれでバスに残るは私一人、どうしよう。ここまで来て板門店に行けないなんて情けない、なんとしてでも。盧牧師が心配して下さり、前のバスの運転手さんのツツカケを履いて見なさいと言われ、ツツカケを履いて警備兵に見せると「運動靴より悪い」と言われた。どうし



板間店軍事停戦委員会テーブル前で
(右から4番目が筆者)

よう、御主人様はバスの中からただ見て笑っていた……とにかくそんなことはどうでもいい。ズボンとスカートを替える……その時、成畢珠執事のコートが、窓から誰からか私に手渡された。そして、金永軒執事が「自分は前に板門店へ行ったことがあるから」と言いつて靴を貸してくれ、靴を履き替えてコートに着たが、どうしてもジーンズが見えるので、ジーンズを脱ぎコートを着て、警備兵に見せるとバスした。やれやれ、金永軒執事が残るつもりだったが、板門店に降りないでバスに乗って行けばいいという事でみんな一緒に板門店に入ることができた。金永軒執事があがりとうございませう。ひととき厳重な警備の中、途中で「コートは駄目」と言われなかつた。沈黙の中、緊張感が増す中、沈黙の中、庭を回った所が板門店の共同警備区域。中央に軍事境界線をまたぐようにして、木造平屋建てプレハブ風のカマボコ舎(カマボコのような形)が七棟建っていて、真ん中が軍事停戦委員会本会議場、その左に中立国監視委員会議室があり、本会議場の右に国連軍側直轄校用建物と、北側警備兵休憩室がある。これらの建物がまたいでいる幅五〇cm高さ五cmの突起帯が、南北を分ける軍事境界線、そしてそのカマボコ舎の南北に向かい合うようにして建てられているが、見学者用に設けられている板門店の象徴「自由の家」と北側の板門閣である。

まず軍事停戦委員会本会議場に案内された。毎年停戦会議が開かれ、テレビニュースで見えて思っていたよりずっと狭い、二十坪あまりの建物。入ると、会談用の緑色の長テーブルが軍事境界線の上に位置し、その上の南北のちやうど真ん中の所に、何本ものマイクコードが引いてある。そのコードこそが休戦ラインなのだ。休戦ライン(北に向つて)の左端に南北の旗が立っているが、お互いに少しづつ相手よりも高くしようと、一時は天上につく程だったらしいが、現在は程よい高さに並んでいた。が今でも北の旗の方が少し高いとのこと。

やはり、南北の境界を目の前にした時、何とも言いようのない涙が流れた。こんなに近いのに、こんな線一本でなると多くの人が悲しい、不幸な思いをしていることか。この場所だけでしか南北が出会えないと思うと、この場所が大事な場所であり、大切にしたいと思つた。「この線の向こうは北です」と冗談もつかぬ説明が妙に胸に響く。記念に北で写真を撮らせてきた。次に案内されたのは自由の家、八角亭の韓国式現代建築で、展望台からは板門店一帯が見渡せる。板門店の附近を行き来する北の警備兵も見え

る。軍服、赤い腕章が印象的。板門店西側の観測所からは、南の風景と変りない北の風景が一望できる。共同警備区域内の西南端にある「帰らざる橋」この橋の正式な名前は「沙川橋」と言い、韓国動乱後、この橋の真ん中で南北の捕虜交換が行われ、この時北へ行った者は二度と帰れなかつたため、この通称で呼ばれるようになったもの。なんともわびしい思いで「帰らざる橋」を後にした。同じ国の者同志がならみあっている。本当は皆そんな事は望んでいないのに、いったい何がそうしているのだろうか人間がつくった戦いだけれど、人間の力で平和がなかなか取り戻せない。

「神様、どうか一日もはやい統一を」と祈りつつ、ソウルへの帰途について。(名古屋教会執事)

去る二月十、十一両日、名古屋教会にて第二十回全国青年指導者研修会が行われた。毎年、指導者研修会は全国の青年が集まり、全協の主題・副題等を論議し、一年間の方向性を探ろうとするものである。初日は金昭裕全協代表委員より、今年度の主題「苦難を知る者としての使命(副題)イエスの生き様に従って真実を学ぶ」在日同胞キリスト者青年の発題が行われ、その中で現在の日本社会は一連の天皇の死去に伴う天皇代替問題や一般人による「自衛」ムードなどと、戦前の軍国主義への回帰と新たな天皇制を中心とする民衆管理への強化であり、危機的状況であると指摘し、その中であつて何が真実なの

かを、神にあつて在日韓国人キリスト者青年としての証しを、今求められているのだとの問題提起がなされた。その後、昨年全協に設置された91年問題小委員会の姜聖律研究部長より、91年問題の研究報告がなされ、91年問題をとりえる基本的視点として、祖国の植民地支配から一貫した日本の「同化・排外」政策と本国政府の棄民化政策の誤ちを指摘し、是正していかねければならないと同時に、民族分断や世代間の分裂を招く法的地位の確保でなく、在日同胞社会の権利獲得が必要であることが話された。そのために、単に安定した在留権獲得のみならず、外国人登録法の抜本的改正や民族教育の保障、並びに社会保障等の充

実など幅広い在日同胞の生活権の確立が必要であると語られた。二日目は91年問題を中心に李根秀牧師(折尾教会)による主題講演が行われた。李根秀牧師は自らの法律論議だけでなく、広く在日韓国人の民族主体性、すなわちアイデンティティーの問題としてとらえなければならぬと話を結んだ。その他にも分断や全体討論において、青年の教会離れや後輩の育成といった青年同志のつながりを問う問題が出された。(通信 梁釅一)

全協指導研開かる
91年問題などを研修

성령받고 말씀배워 전도하자
中部地方会 研修会



「성령받고 말씀배워 전도하자」를 주제로 열린 中部地方会研修会

主題 성령받고 말씀배워 전도하자」를 中心하여 講 師李聖柱牧師(福岡教会)를 모시고 蒲郡의 三谷温泉의 明山荘에서 모였다. 中部地方의 各教会에서 40 名이 참가하여 行事를 마 쳤다. 姜사 李聖柱牧師님은 牧會 30年、在日教会 20年 의 牧會자중과 개인의 시 령중을 주시는 성령의 능 력을 역설하시며、教会사랑 의 강화를 7回 계속하며 드 거운 牧會的관심을 던져 주 셨다. 성령은 곧 축복받은 牧師에게 주시는 은사인데 과연 성령의 활동을 믿고 따라가는가? 성령은 하나

님의 生命의 말씀인데 과 연 축복받은 聖徒로써 하 나님의 말씀을 믿고 읽는가 ? 전도는 祝福받은 教会의 살아있는 使命인데 과 연 伝道하고 있는가?를 물 으며 전적인 하나님의 신 의를 따라와 보라 하심을 가 나를 사랑하느니라 는 두 장면을 生命과 연결시켜 가 는 말씀사건으로 이어가 자 고 호소하여 함께 깊은 결 심을 하였다. 특별시간으로 ①한국교회의 어제와 오늘 ②李相九박사의 건강강화 비디오투 보며 行事를 마 쳤다. (통신 노정인)

教会・教会員の保険は★全てお任せ下さい

全国どこでもO・K! 事故の時安心!

現代海上火災保険株式会社

住友海上火災保険株式会社

ALICO・JAPAN

日本生命保険相互会社 取扱

聖光保険事務所

代表 金 聖 次

(西成教会 執事)

〒596 岸和田市小松里町1-26

TEL 0724-43-1641

FAX 0724-43-7975

COMPUTER
の専門店

★ホサンナ
コンピューターサービス(有)

代表取締役 金 泰 源

(沖縄教会 長老)

本社: 沖縄県北谷町字浜川 8-5

電話: 098936-2030代

(KCPチエン・エアポートワイ)

聖 和 商 事

タイ王室に果実納品(20年間継続中)

大阪国際航空全機内食果実納品

代表者 禹 永 吉

(武庫川教会長老)

大阪府池田市空港1-7-15(大阪国際空港前)

TEL (店) 06-843-0816

TEL (自) 06-855-3865